サラリーマン的 日本縦断の旅

日本縦断　太平洋ルート *Vol.08*　H30/6/01～6/8

【天王寺　→　岸和田　(　→和歌山/輪行)→　徳島　→　八幡浜　→　別府　→　都城/813km】

[大阪より四国を経由し宮崎県都城市を目指す旅の記録]

四万十市内を流れる日本最後の清流・四万十川。これ、見ているだけで飽きない風景…。空のブルーがまたいい…。

天王寺（→ 和歌山）→ 四国 → 都城へのルート　（走行距離 813.32km）

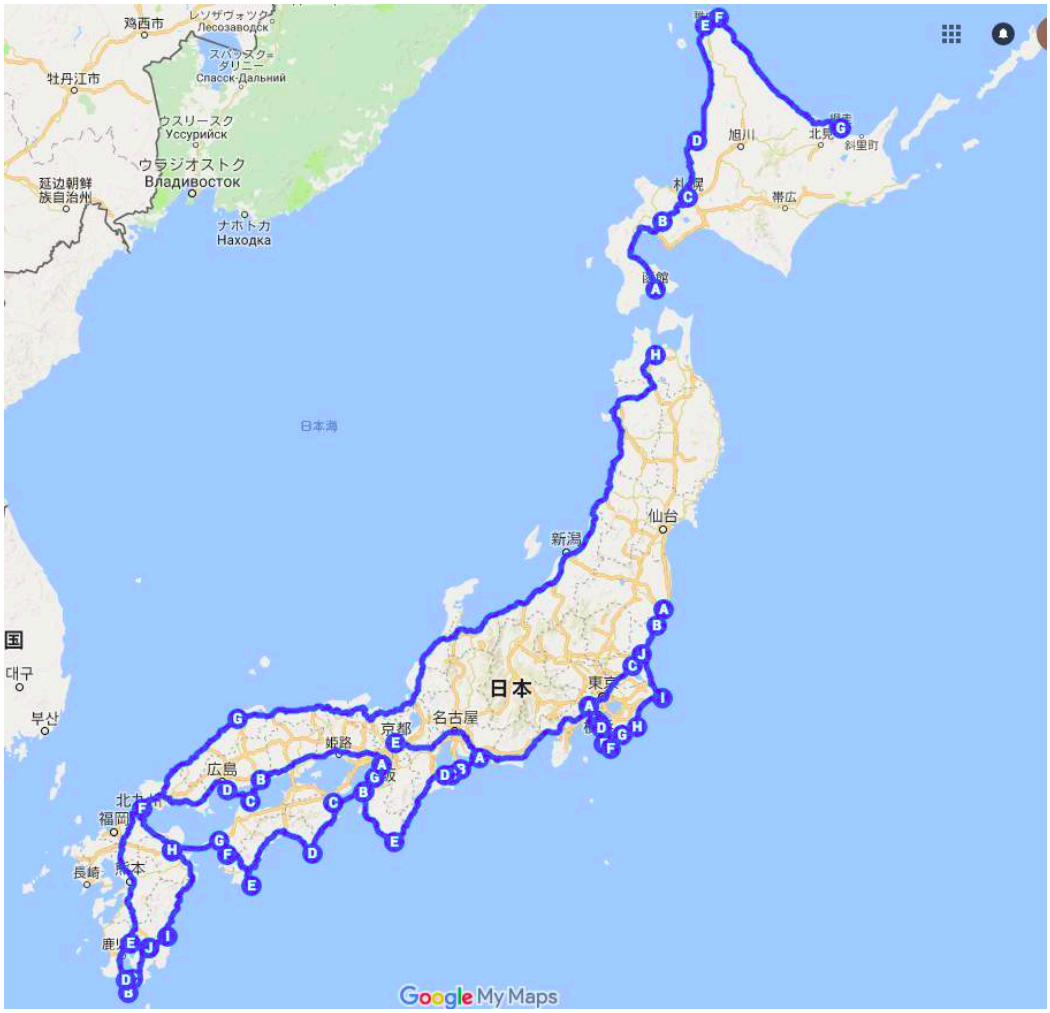
▶　一日目　[天王寺　→　岸和田　→　東岸和田　→(輪行)　→　和歌山　→　和歌山港]

▶　一日目～三日目　[徳島港　→　阿南　→　高知　→　四万十町(旧窪川)]

▶　四日目～五日目　[四万十町(旧窪川)　→　足摺岬　→　四万十市(旧中村)　→　八幡浜港　→　(フェリーで別府へ)]

▶　六日目～七日目　[別府　→　延岡　→　都城]

日本縦断　これまでの歩み(日本海ルート＋太平洋ルート)



・日本縦断「日本海ルート」(H27/02/28～H29/06/18に達成)

① （第一ステージ）H27/02/28～03/07　鹿児島→出雲　631km（九州＆山陰ステージ）
② （第二ステージ）H27/07/19～07/26　出雲→新潟　856km（山陰＆北陸ステージ）
③ （第三ステージ）H28/06/05～06/10　新潟→青森　467km（東北ステージ）
④ （第四ステージ）H29/06/13～06/18　函館→宗谷岬　621km（北海道ステージ）

積算走行距離（鹿児島～宗谷岬）：2,575 km

・日本縦断「太平洋ルート」(H28/02/27～)

① （Vol.01ステージ）　H28/02/27～03/02　東京→京都　493km（関東＆近畿ステージ）
② （Vol.02_1ステージ）H28/09/09～09/11　土浦→いわき　169km（関東＆東北ステージ）
③ （Vol.03ステージ）　H29/03/04～03/08　豊橋→大阪　500km（近畿ステージ）
④ （Vol.02_2ステージ）H29/04/22～04/22　東京→土浦　101km（関東ステージ）
⑤ （Vol.04ステージ）　H29/06/18～06/21　宗谷岬→網走　328km（北海道ステージ）
⑥ （Vol.05ステージ）　H29/10/05～10/11　大阪→別府　753km（山陽&九州ステージ）
⑦ （Vol.06ステージ）　H30/01/28～01/30　鹿児島→都城　237km（九州ステージ）
⑧ （Vol.07ステージ）　H30/04/27～04/30　東京→水戸　371km（関東ステージ）
⑨ （Vol.08ステージ）　H30/06/01～06/08　大阪→都城　813km（四国＆九州ステージ）

積算走行距離：3,765 km（+「日本海ルート」との総合計：6,340km）

第一日目：6/1(天王寺/大阪府～和歌山～阿南/徳島県)

・ルート：天王寺駅 ～ (国道26号) ～ 岸和田駅～ 東岸和田駅～ (輪行)～ 和歌山駅 ～ 和歌山港 ～ (フェリー) ～ 徳島 ～ (国道55号) ～ 阿南
・走行距離：64.50 km　平均速度：22.2km/h　最高速度：42.0km/h　走行時間：2時間52分
・天気：☀

【天王寺→岸和田】

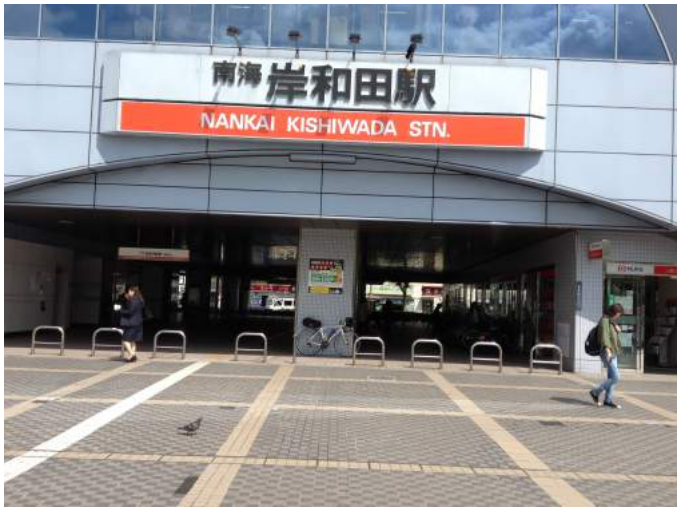
→

【徳島→阿南】

5/31 23:55に海老名を出発した夜行バス・ブルーライナーは、定刻通り翌朝7時に天王寺駅前に到着しました。ほとんどがUSJ行きの乗客のようで、天王寺で下車する乗客はまばらでした。今回で二度目の利用で、延着はありませんでした。満席の狭い車内で眠れず、明け方に少しだけうとうとしただけでした。

早速、目の前の公園でロードバイクを組み立て出発しました。この日は東岸和田駅からの輪行＋和歌山港からのフェリー乗船と盛りだくさんでした。国道26号線は、大阪の中心部を離れると交通量も減り、走り易くなりました。ただ、岸和田に近づくにつれ、自転車通行不可の高架橋が増えて、迂回することが多くなりました。（迂回ばかりで疲れる…。）

岸和田の手前で軽く朝食を取り、南海・岸和田駅に無事到着しました。岸和田は、昨年の紀伊半島一周のゴール地点でした。ようやく豊橋から天王寺まで一本の道で繋がりました。そのためだけに天王寺→岸和田を走行しました。岸和田から和歌山までは前回の旅での重複区間となりますので、輪行でワープする作戦でした。岸和田駅では前回と同じ場所で写真を撮り、JR東岸和田駅に移動。駅前で輪行し、阪和線で和歌山駅へ。車内は、空いていて、少し仮眠ができました。



降り立った和歌山駅はのんびりした駅でした。今日、二度目の組み立てをして、和歌山城を遠めに見ながら、和歌山港へ向かいました。13:40発のフェリーまで時間があるので、チケット売り場のお兄さんに聞いた近くの「みなと食堂」でお昼を食べることにしました。港湾労働者の食堂のようで、お安くかつボリューム満点の品が揃っていました。中華そば350円は、かなりお値打ち。美味かった〜。

和歌山に着いて、晴れているものの、気温の割には暑く感じませんでした。南海フェリー徳島行きは、船体検査の一部休便の影響で、車両甲板はすし詰状態。しかし、船室は、ガラガラで2時間ほど熟睡できました。フェリーの旅は横になって仮眠出来るのが嬉しい…。隣にいたご夫婦も同じことを言っていました。

16時前に徳島港に到着。日差しが強く暑く感じました。阿南まで、国道55号線を27km、少しだけ快走しました。徳島は、国道沿いに牧場があるのんびりしたところでした。前夜からの夜行バスに和歌山までの輪行、さらにフェリーでの移動と慌ただしい一日でした。翌日に備え早めに床につきました。いつも一日目が終わるとホッとします。ようやくペースが掴めた気がします。

第二日目:6/2(阿南/徳島県～室戸岬～奈半利/高知県)

・ルート：阿南　～（国道55号）～ 室戸岬　～（国道55号）～ 奈半利
・走行距離：138.59km(積算走行距離：203.10km)　平均速度：23.5km/h　最高速度：49.5km/h
　走行時間：5時間53分
・天気：☀

【阿南→室戸岬→奈半利】

7:18、阿南のホテルを出発しました。この日の最高気温27℃の予報。いつもながら午前中の涼しい時間帯に距離を稼ぐことにしました。

国道55号は、阿南の市街地を抜けると、アップダウンの連続に。気になるほどではないものの、昨日の疲れか思ったほどペースが上がらずまいりました。土曜日の国道55号線、相変わらず交通量が少なめでした。

牟岐を過ぎると太平洋が近くなり、走っていても気持ちが良い。海部で小休止し、室戸岬へ向かいました。東洋町から室戸岬まで、コンビニがなく参りました。佐喜浜でようやく地元のリカーショップを見つけ、軽い昼食が取れて助かりました。鳥取県以来のコンビニ空白地帯！でした。まだ北海道のオホーツク沿い

の方がある？

　着いた室戸岬は、「ここがそうなの？」といった感じの場所でした。岬全体がジオパークになっており、宗谷岬のような突端にポツンと碑が建っている場所ではありませんでした。「大地誕生の最前線を歩く」と言うように。地質・地形などのみどころがいっぱいあるようです。今回は時間が無く探索できませんでしたが、是非またのんびりと訪れたい場所です。各種ツアーもあるようです。
参照URL：*http://www.muroto-geo.jp/about/*

　室戸岬の灯台は、国道より徒歩20分の山の上に位置していました。近くには八十八カ所霊場・第24番札所の最御崎寺（ほつみさきじ）がります。お遍路さんも大変です。

奈半利の宿には、15時すぎに到着しました。街を散策しましたが、小さな街で夕食を取れそうな店は見つけられず、仕方なく、ホテルのレストランで。幸いにしてこのホテル併設のレストラン、当たりでした。今が旬のカツオのたたきの美味いこと！大満足！な一日となりました。

第三日目：6/3(奈半利/高知県～高知～四万十町/高知県)

・ルート：奈半利 ～（国道55号）～ 高知 ～（国道56号）～ 四万十町(旧窪川)
・走行距離：124.30km(積算走行距離：327.40km)　平均速度：21.5km/h　最高速度：45.8km/h
　走行時間：5時間46分
・天気：☀

【奈半利→高知→四万十町】

この日のルートは、四万十町(旧窪川)まで高知経由で120km。余裕？があると思い8:45ホテルを遅めにスタート。

国道55号は、日曜日のせいか、車の往来も疎らで走り易く助かりました。安芸市に入り、国道沿いの赤野の休憩所では、絶景が。高知の海岸線は砂浜が多く、ほんとうにきれい。

高知の手前、19km地点の香南のコンビニで小休止しました。高知は路面電車の走る風情のある街でした。途中、坂本龍馬生誕の地に立ち寄り、高知城を眺めながら、四万十市に向かいました。この頃から後変速機の異音が、ひどくなりストレスがたまることに。高知市内の国道56号沿いのファミレスで、この旅初めてのファミレスランチを取ることにしました。

後変速機のワイヤーアジャスターの調整を繰り返し、何とか都城まで走れるようになりました。但

し、1速目を犠牲にし、2速〜11速の変速となりました。帰京後、バイクショップに持ち込むとリアエンドが僅かに内側に曲がっていることがわかりました。このアンカーのロードバイク、日本中走り回っては、ヤマト便、飛行機・バス・電車輪行の繰り返しで、実はかなりダメージを受けていました。…。

　中土佐町と四万十町の間の七子峠には参った！甘く見ていたら、アプローチが6km以上ありました。交通量が少ないのが、救いでした。主に海沿いの道を行ってもこんなことがよくあります。

　この日の宿泊地第37番礼所・岩本寺には、16時くらいに到着しました。その昔YH時代に泊まったことのある宿坊で懐かしさがありました。この日の宿泊はどうやら私を含めて三人のようでした。個室が割り当てられ、カップ麺がご接待？で、置いてありました。人数が少ないせいか素泊まりならば、ということでお世話になりました。夕食は宿坊から歩いて5分程の今風のレストランへ。四万十ポークを使った、第二回全国丼グランプリ銀賞を受賞した豚丼を頂きました。美味〜。

　奥様より明日は朝6時からお勤めがあると告げられました。こちらもありがたい。

第四日目：6/4(四万十町/高知県～足摺岬～四万十市/高知県)

・ルート：四万十町 ～（国道56号）～ 四万十市 ～（国道321号）～ 土佐清水～（県道27号）～ 足摺岬 ～ 土佐清水 ～（国道321号）～四万十市
・走行距離：137.84km(積算走行距離：465.27km)　平均速度：22.7km/h　最高速度：47.7km/h
走行時間：6時間03分
・天気：☀

【四万十町→足摺岬→四万十市】

5時過ぎに起床、パンを食べてから6時からのお勤めに参加しました。住職の他には、電車でお遍路をしているおじさんと私の二人だけでした。お勤めは約30分、住職がお経をあげます。その間、事前に配られたお経の書かれたペーパーに目をやりながら、住職のお経について行こうとするのですが、所詮ド素人には無理なことです。わかる範囲で、気持ちを込めてお勤めすることが大切なのだと思いました。いずれにしても、早朝の本堂でのお勤めは清々しい一日をスタートさせるのには、とても良い方法だと感じました。お経が終わると、住職のお話がありました。

朝のお勤めが終わり、電車遍路をしているおじさんと少し話しをした後、6時48分に岩本寺を出発しました。この日は、足摺岬に行き、再び四万十市(旧中村)まで戻る長丁場でした。

四万十町(旧窪川)からの国道56号は、しばらく山あいを進み、黒潮町に入るとまた太平洋が見えました。景色の良いところで写真を撮りながら、土佐清水を目指しました。高知の海は、白い砂浜が多く、どこも絵になる風景でした。

土佐清水から県道27号を反時計回りに足摺岬を目指しました。アップダウンのすごいこと。足摺岬までの数キロが途方もなく長く感じました。あ～疲れた。足摺岬は、岬の突端にあるまさに「岬」でした。展望台から太平洋を望むと遥か下にありました。観光地かと思いきや、どちらかというと最果てムードの漂うような場所でした。時期的なものか、観光客もまばらで益々辺境の地といった印象でした。

土佐清水の食堂で、月見うどんを食べました。旅に出ると、つい食べ過ぎてしい、この日は休肝日にしました。地元の人が食べにくるのんびりした食堂でした。

土佐清水から四万十市まで、相変わらずアップダウンの連続。しかも、行きに走っていので、なおさら気が重くなってしまいました。気を取り直し、ペダルを漕いで、15時前には、四万十市のホテルに到着しました。朝のお勤めから始まり長い１日でした。明日は午後から雨の予報でした。

第五日目: 6/5(四万十市/高知県～八幡浜/愛媛県～別府/大分県)

・ルート：四万十市 ～（国道441号）～ 江川崎～（国道381号）～ 鬼北 ～（国道320号）～ 宇和島 ～（国道56号/県道25号）～　八幡浜～ （フェリー）～ 別府
・走行距離：107.71km(積算走行距離：572.99km)　平均速度：22.0km/h　最高速度：58.1km/h
走行時間：4時間52分
・天気：☁ → ☂

【四万十市→八幡浜】

前日の天気予報では、午後から本降りに。こんな時にはとにかく早めに出発し、雨天走行の時間を短くするのが基本です。ホテルで朝食を食べ、7時前にはスタートしました。

国道441号は、四万十市を少し離れると山道となりました。四万十川と並走する江川崎までの区間、すれ違いがギリギリのところも数多くあり、気が抜けないところばかりでした。途中、主な不沈橋が３箇所ありました。高瀬不沈橋、勝間不沈橋、岩間不沈橋。岩間不沈橋は、橋が一部崩落し通行止めでした。最初の高瀬不沈橋が、とても印象に残りました。四万十川をバックに高瀬不沈橋は感動ものでした。対岸には集落があり生活道路でもあるようでした。いずれの不沈橋にも観光客の姿は全くなく、さながら日本の原風景を見ているようでした。

江川崎の道の駅で、小休止して、宇和島に向かいました。ちょうど愛媛県との県境のあたりで、雨がぱらつきましたが、すぐに止んで助かりました。

宇和島を通過した頃、いつ雨になってもおかしくない空模様でした。宇和島市内には椰子の木が植えられ、南国ムード満点でした。ついに、八幡浜港到着直前に本降りとなりましたが、そのまま、我慢して八幡浜港まで走ってしまいました。何とか四国では雨具を着ること無く走り切れました。梅雨の時期にしては、100点満点です。

八幡港発別府港行き13:00発の宇和島運輸フェリーに乗船できました。雨を心配し少しペースを上げた結果です。反面、もう少しペースダウンして四万十川を見ていたかった思いもあります。縦断するのが一番の目的の旅、なかなかうまくはいきません。別府までの2時間50分、二等船室で横になって体を休ませました。長い道中、フェリーの旅は本当に重宝します。

別府港に着岸すると本降りの雨でした。それを見越して、ホテルは港近くのビジネスホテルを予約していました。午後早い時間にチェックインして、この旅初の洗濯をしました。夕食は傘もないので、おとなりのイタリアンレストランで取りました。

第六日目：6/6(別府/大分県～延岡/宮崎県)

・ルート：別府 ～（国道10号）～ 犬飼 ～（国道326号）～ 北川 ～（国道10号）～ 延岡
・走行距離：105.42km(積算走行距離：678.41km)　平均速度：20.1km/h　最高速度：44.8km/h
　走行時間：5時間14分
・天気：☂

【別府→延岡】

ホテルでの朝食後、その足で別府駅前の駅前高等温泉に行くことにしました。ぬる湯とあつ湯があり、熱いのが苦手な私はぬる湯にしました。料金は200円。どうやら以前は、100円だったらしい…。

狭い脱衣所の階段を下ったところに湯船がありました。先客は１名。ぬる湯といってもそこそこの温度はありました。湯船も狭く、大人数で入れるようなスペースはありませんでした。大正から残る貴重な建物で、それだけでもレトロ感満載な温泉でした。

温泉をでると無情にも雨がぱらついていました。自転車旅の辛いことは、温泉に入ってもカッパを着て雨天走行しなければならないことです。せっかくの温泉のぬくもりが一瞬で消え去ってしまいます。（←これ、本当につらいです。）

この日の予定は、延岡までの100km強。雨天走行になると、つい走りっぱなしになってしまいます。連続テレビ小説を見て、8:30にホテルをスタートしました。

国道10号は、さすがに交通量が多く、久しぶりに車に囲まれての走行になりました。犬飼の手前でまさかのバイパス。自転車通行不可だったので、やむなくずっと歩道を走行することに。これで大幅に時間を費やしてしまいました。

犬飼からの北川までの国道326号は、まさに地獄でした。三国峠のアプローチが途方もなく長く感じました。延岡市内まで、ヘトヘトになりながら、ようやくたどり着いた感じでした。結局、まる1日カッパのお世話になりました。

第七日目：6/7(延岡/宮崎県～都城/宮崎県)

・ルート：延岡 ～（国道10号）～ 宮崎 ～（国道269号）～ 都城
・走行距離：135.00km(積算走行距離：813.42km)　平均速度：21.5km/h　最高速度：n/a
走行時間：6時間15分
・天気：☁ → ☂

【延岡→都城】

この日は、一日すっきりしない天気予報が出ていました。ホテルでの朝食も早々に宮崎経由で都城を目指しました。走行距離は、長丁場の135kmでした。いつもながら、一週間目となると疲れも溜まってきて、走り始めるまでがちょっと辛くなる時期です。走り始めれば何と言うこともないのですが、自転車旅は疲れます。本当に好きでないと長距離サイクリングはできません。まして、一日中雨天走行となると、何か目的がありモチベーションをキープしないと難しい一面もあります。

宮崎駅までの国道10号線は、多少のアップダウンがあるものの平坦な道が続いた印象です。難なく？宮崎市内に入りました。問題は、宮崎から都城の国道269号線でした。国道は日豊本線と並走しながら都城へと続いていました。難所は、青井岳付近でした。ナビで見ると昨日の別府→延岡間の三国峠とアプローチが似ていました。正直、いやだな～と思いました。宮崎から国道269号線を進すむと徐々に上り基調となりました。おまけに、峠の途中で雨が本降りとなり、木の下で雨具を着用せざるを得ない状況に。猛スピードでトラックは横を通り過ぎて行き、恐怖でした。雨具を着用し、ひたすら上って行きました。すると難なく頂上に着いてしまいました。下りとなり道の駅山之口で小休止を取りました。

　都城までは、下りとなりました。しかし。都城駅直前に土砂降りの雨になりました。いやいやついていない…。都城駅には、15:35に到着しました。今年1月に佐多岬より北上して来て、この駅から輪行し、宮崎に向かった思い出の駅です。駅をバックに記念撮影するのも一苦労なくらい、雨は本降りでした。

　翌日は都城より宮崎空港駅まで輪行することになっていましたので、駅前のビジネスホテルを予約しておきました。翌日、輪行するのも面倒なので、ホテルの軒下を借りて、ロードバイクを輪行袋に詰めました。濡れた車体などを拭き、結構な作業時間となりました。チェックインするとすぐさま風呂に入る前に、ランドリーで洗濯をしました。飛行機に汗臭い姿で搭乗するのはちょっと気が引けます。

　この日の夕食は、小雨になった頃を見て、近くの回転寿しに行ってみました。回転寿司がとてもうまく感じました。本当は、有名な丸新ラーメンに行きたかったのですが、残念です。

第八日目：6/8(都城/宮崎県～宮崎空港)

・走行距離：0km　(この日は、都城駅から宮崎空港駅まで日豊本線で移動。空路帰京)
・天気：☂

ホテルでの軽い食事を済ませ、目の前の都城駅に輪行袋とフロントバックなど全ての荷物を担いで移動しました。

8:32発の日豊本線宮崎行きに乗車し、途中南宮崎で宮崎空港線に乗り換え宮崎空港駅に到着しました。いずれの列車も混雑は無く、南宮崎駅までは座っていけました。輪行袋は車両の荷物置き場のスペースに置くことができました。

大阪から四国経由で7日間かけて、宮崎県の都城駅に到着しました。今回、ヘロヘロになってようやくたどり着いたという感じです。前日の延岡手前の三国峠でバテバテになりました。

大阪天王寺から和歌山へ。フェリーを乗り継ぎ徳島へ。室戸岬、足摺岬と太平洋側を進み、四万十川をさかのぼり愛媛県八幡浜港から大分県別府まで再びフェリーに乗船。別府から延岡、宮崎を経由して都城への長旅でした。

四国では、八幡浜港直前で雨に降られたものの、天気に恵まれました。別府でフェリーから下船すると土砂降りの雨…。九州は梅雨空の中のライディングとなりました。

長いようで短いロングライドが無事終了しました。定刻通り羽田空港に着陸しました。知人の好意でお迎えがありました。その足でバイクショップに直行し、エンドの修正とオーバーホールをお願いしました。

終わり

▷『天王寺→和歌山→高知→都城』を走って…＆今後

▶　ルートについて：梅雨の間隙を縫って、大阪天王寺よりスタートしました。今回は、東岸和田から和歌山まで輪行、和歌山港から徳島港及び八幡浜港から別府港までフェリー乗船と今までの縦断の旅と比べ随分変化に富んだツーリングとなりました。

　四国では最終日以外は天候に恵まれ、気温湿度ともにほぼベストコンディションでした。ルート的にも平坦路が多く、ところどころ山間部などアップダウンの連続がありましたが、快走できました。

　四万十市より宇和島までのルートは、ナビでは上り基調でしたが、何となく宇和島についてしまったような感じでした。

　八幡浜直前での雨天走行から、結局九州に入っても天候は回復せず、別府から延岡、延岡から都城までほぼ雨具を着用しての走行でした。この時期ですから仕方ないですが、やはり自転車旅の満足度には天候が大きく左右します。好きじゃないとできないです…。

▶　装備(ウェア)について：速乾性のTシャツの上にモンベル製の通気性を備えた半袖サイクルジャージに、日焼け防止のアームカバーを着用(夏仕様)しました。

　下は、パールイズミ製ウィンドブレークタイツ(５℃)＋尻の部分に３Dパッドを装着しているモンベル製のサイクル ツーリングショーツ(半ズボン)を着用していました。この時期”５℃”では少し暑く感じることも多く、もう少し薄手のタイツが良かったと思いました。第一ステージ以来続けているように、安全面を考慮し一番上には反射ベストを着用し、車からの視認性を高めるようにしました。今回はトンネル通過が多く神経を使いました。

▶　装備(自転車)について：　今回はアンカー製アルミロードバイクでのライドでした。フロントバック＋大型のサドルバックを装着しました。

大型のサドルバックの中には、着替え一式（外出用の薄手のズボン、ジャージ/上のみ、速乾性Ｔシャツ＊2 枚、パンツ＊2 枚、予備靴下＊1 枚など）、登山用のゴアテックス上下セパレートタイプの雨具、予備チューブを入れました。持ってみるとかなりの重量となりますが、走行中支障がでることはありませんでした。

▶　車両トラブルについて：今回は、高知に入り後変速機の調子が悪く、変速に支障をきたしたまま結局都城まで走ることになりました。車両後方からの確認では、後変速機のゲージがスプロケットに対し平行ではなく少し曲がっていました。この時考えられたのは、輪行時に後変速機のゲージを階段などにぶつけ曲げてしまったのかと思われました。後変速機のワイヤーアジャスターの微調整を繰り返し、１速を犠牲にして２速から 11 速での変速可能な状態にすることができました。ワイヤーアジャスターの調整は、youtube でたまたま事前に視聴していました。あまり意識したことのない調整ですが、大いに役立ちました。羽田よりバイクショップに直行し、見てもらったところ、実はリアエンドが少し曲がっているのが原因でした。わずかな触れ幅ですが、確かに良く見ると曲がっているのが確認できました。昔のロードなどは 5～6 速くらいのなので、多少のズレは問題なかったと思いますが、さすがに 11 速になるとわずかなズレでも変速に支障をきたします。もはや精密機械です。

余談ですが、ショップで見てもらったところ、左 STI レバーもおそらく輪行中に何かにぶつかったことが原因で、変速時かなり固くなっていると指摘されました。このロードバイク、日本中を走ってはヤマト便や輪行の繰り返しで、実はかなりダメージを受けていたことがわかりました。

チェーンからの異音（キリキリ音）は今年１月の、鹿児島→佐多岬→都城で確認できていました。そのため、チェーンを新品に交換し、房総半島に出掛けましたが、完全に解消されることはありませんでした。その時点でバイクショップに持ち込んでおくべきでした。ロングツーリングでの駆動系のトラブルは相当なストレスです。

タイヤはこの機会にビットリアのゼフィーロ３に交換しました。パセラに比べ大幅に軽量で走り始めるとその重量差が何となく実感でき、今回快走？できました。笑

▶　日程について：今回、813km を７日間で走破しました。一日平均 116km ほどです。「和歌山→徳島」、「八幡浜→別府」と二回のフェリーの乗り継ぎなどもあり、今回程ルート設定が読みづらかったのは、初めてでした。梅雨の走りの時期、雨天走行も考えられ、予定通り走破できるか微妙でした。取り敢えず、徳島より八幡浜まで走り、ゴールは別府も想定していました。四国では、アップダウンが思った以上に少なく、距離がのびたことと、天候が安定していたことが予定通り走行できた要因だと思っています。

前述の通り、ルート設定が難しく、旅の途中で帰路便の予約をしました。これは、縦断の旅初です。比較的、観光客が少ない時期で、ちょくちょく帰路便の空席状況を確認していました。帰路便の候補として、松山空港、大分空港、宮崎空港を考えていました。四国も中盤にさしかかり、これは都城まで走れると思い、宮崎空港発の JAL を予約しました。

▶　今後の日本縦断の計画について：日本縦断太平洋ルートも残すところ、「いわき→青森」、「網走→えりも岬→札幌」となりました。来年はこの２ルートを走破して、日本縦断太平洋ルートに一区切りつけたいところです。

■ 参考資料（地図）　：
ライトマップル　関西/中国四国/九州道路地図 1:200,000　昭文社

■ ルート検索　　：
NAVITIME(PC 版) 自転車ルート検索「大通り優先」を走行　http://www.navitime.co.jp/bicycle/
iPad mini で NAVITIME(PC 版)を利用しています。画面も大きく、縦断の旅では、ずっと使用しています。

■ 主な宿の予約手配　：
じゃらん　http://www.jalan.net/
宿への直接電話予約(高知県/岩本寺宿坊)

■ 自転車の輸送方法　：
往路　→　夜行バス/ブルーライナー(海老名→天王寺)
復路　→　飛行機輪行(宮崎→羽田)

まだまだ日本縦断・太平洋ルートの旅は続きます。

以上。